

支えあい いきる町

川中通信

NO24
2022年3月

支えあい活動
連絡会議

発行
松村 宗哲

編集
吉川 正春

連絡先
070-1682
-7435

支えあい川中「三題」

市バス事故対応



「バスの急ブレーキで顔を打ち歯を痛めた。交通局は加害者がいるので治療費などはその人と話をしてほしいと言う」と相談がありました。詳しく聞くと、バスの急ブレーキの原因は自転車が赤信号で飛び出したことが原因。この自転車の加害者と話をせよと言うことでした。

バスに乗っていてその運転だけがをしたので交通局が対応すべきだと電話しました。ところが交通局は「自分も被害者、けがをされたなら直接加害者と話し合え」という。でも、加害者と被害者は何の面識もなく、話し合えというのは無理がある。市バスの急ブレーキだけがをしたのだから交通局が対応すべきだと主張しました。

ところが交通局は、加害者の「保険」が対応すべきであるとして主張を変えませんでした。「バス乗車中の事故だから交通局が責任を持って被害者と加害者の中に入り仲介をすべきだ」と強く申し入れました。その後、話はその方向で進んでいると連絡をもらいました。

照明設備の老朽化

社会福祉協議会、担当ヘルパーさんと連続2件の相談がありました。「利用者さんの自宅の電気がつかない」さつそく現地調査、玄関も台所もつかない、奥の一部屋のみがついている状態です。状況を確認して蛍光灯など必要なものを購入して作業を行いました。交換でき明るくなりました。

ところが一カ所「グローランプ」がだめで交換のため強く握って外そうとするとボロボロ割れ落ちてしまいました。電源を落としてペンチで外しました。電球の交換のさい、あまり古い器具はそんな事態もあります。注意しましょう。



ゴミの処分

いきいき支援センターからゴミの処分の相談があり、さつそく現地のお宅に訪問しました。ご主人が亡くなられて2年になり、粗大ゴミを



出したとのことでした。部屋を見せていただくと、4畳半の部屋にゴミ袋が1mくらいの高さに積み重なっていました。

燃えるゴミはまず分別して火曜日に出ししました。大形ゴミ袋10個ありました。やっと畳が見え、椅子を置いて座ることができました。次は不燃ゴミ、その後、粗大ゴミで順番に処分することを相談しました。分別は自分でやりましたが、独り暮らしはついものを溜めることになってしまいました。ご近所と声を掛け合って処分できるといいですね。

プラス一題

毎週二回のゴミの収集
玄関前の掃き掃除、清潔
な町並みの我が町です。

でも一匹の犬と飼い主の不始末でそんな環境が一変します。車につぶされペチャンコ、雨が降れば汚れが広がる。町が汚れ本当に不快な思いをします。



多くの愛犬家が迷惑しています。飼い主の責任でウンチは処分してください。切なるお願い。



このQRコードを読みとれば、今まで発行した「川中通信」がご覧になれます。

川中学区 自治会たより

学区連絡協議会
発行：松村宗哲
編集：吉川正春
2022 年 3 月号

毎月の廃品回収、自宅前で OK

毎月第三木曜日、4 月 21 日、5 月 19 日
回収は新聞紙、段ボール、布などです
収益は自治会の活動費になります。

福祉出張なんでも相談会開かれる



川中コミセンで健康チェックを受けるみなさん

2 月 24 日(木)午前 10 時～、川中コミセンで開催されました。20 人以上が参加され「骨密度・脳年齢・血圧・血管年齢測定」などの健康チェックを次々受けました。何でも相談も 4 人ありました。

民生委員さんの口コミもあり、開始早々は混み合いました。やはり普段関わっている人からの紹介は、安心感があり足を運びやすいのでしょう。多くの方が参加され好評でした。

子どもの安全守って 12 年



福德町 7 丁目 伊藤充郎さん 84 歳



福德 7 丁目の押しボタン信号で、毎日子どもたちの登校を見守っている方がいます。いつから見守りをやっていますか。

「自治会長のときゼロの日に立ち番をした。それ以来毎日立

つようになった。もう 12 年になる。子どもの笑顔が楽しみで声をかけています」

7 時 20 分から 1 時間近く見守りです。冬の寒い日や雨の日も毎日欠かさず、交通指導員がいない時期は 1 人のときもありました。「ときどき子どもの元気なあいさつがあり、がんばれよの気持ちです」

学校の交通見守りに感謝する会で、子どもたちの温かいメッセージや花束をうけとるのが何よりのお宝です。最近は森さんも加わり 3 人で立っています。仕事で腕を亡くされたとのこと。困ることはありませんかと聞いたら「ひもが結べないことかな」と笑い飛ばしていただきました。

— 学区からのお知らせ —

旧愛エプール跡地利用のご意見を

プールとテニスコートが撤去され整備されました。この土地をどの

ように使うのか学区としても意見を反映したい。学区連絡協



に届けてください。 更地に整備されたプール跡地

長谷工ホームの説明会が、1 月 30 日学区にありました。7 月 5 日までに道路を含む宅地造成が行なわれます。それ以降 45 区画の一戸建て建設が始まります。年内には一部完成させたい意向です。

地域に欠かせない「自主防災会」

各地で発生する自然災害・風水害に地震。私たちの地域にもいつ起こるかわかりません。安否確認をしたり、避難所の開設・運営などをしたり自主防災会の仕事は欠かせないものです。長年自主防災会の村瀬滋さん(中切 1 丁目)は「私も 87 歳になり、先頭に立つ活動は困難です。地域の安全・安心のために 50 代、60 代の人が必要です」と話してみえます。

年一回の訓練や研修など働いている方も対応できます。万が一の災害時にあなたの力が必要です。あなたの力をお貸しください。

コロナに負けないよ 子育て教室開く



コロナのため中断していた「みんなであそぼうよ」が 3 月 11 日にコミセンで開かれました。

担当の民生委員さんなど係の方が待ち受けるなか、4 人のお母さんと子どもたちが参加しました。母子、友達どうし楽しい時間を過ごしていました。コロナが収束し、多くのこどもの声が聞こえるといいですね。